

# 亀の井歯科 かわら版

秋号 vol.17



オリンピックで盛り上がった夏も終わり、夜は秋を感じさせる虫の声や涼しい風が吹くようになり、涼しさを飛び越して急に寒くなってきました。

オリンピックではメダルを取って目標を達成した選手や実力を十分出せずに終わってしまった選手もいましたが、負けても勝っても達成感を味わうことは気持ちが良いことだろうなあと感じました。日々の中で目標を立てるのは難しいですが、小さい目標でも良いと思います。今年の残り2ヵ月の目標を立ててみてはいかがでしょうか。

## 歯の色と変色の原因 (黒川)



歯の色と構造には関係があります。

歯の構造は一番外側をエナメル質が覆っており、その内側には象牙質、さらに中心部には神経や血管が通る歯髄があります。エナメル質は半透明の硬い組織で、象牙質は黄褐色の組織です。

象牙質は一般的に淡い黄色をしているので、エナメル質を通して象牙質の色が透けて黄色く見えたりエナメル質の表面の凸凹によって光を乱反射することで白っぽく見えたりします。また個人差はありますが、欧米人などに比べ日本人はエナメル質が薄いと言われています。

### 変色の種類

外因性のもの

1. 喫煙や飲食物によって、汚れが表面に付着（お茶、カレー、コーヒー、赤ワインなど）
2. むし歯（初期の虫歯は白く濁った色、進行したむし歯は茶褐色や黒っぽい色）
3. 詰め物やかぶせ物の変色による（詰めた金属が原因）

内因性のもの

1. 抗生物質（テトラサイクリン）歯の形成期に服用すると変色が起こる
2. 加齢による黄ばみ（加齢により象牙質の色が濃くなり食事などによりエナメル質が薄くなる）
3. 神経を取った後の変色
4. フッ素による変色（高濃度のフッ素によるもので日本では薬事法で高濃度のフッ化物は使用できない決まりがあるので市販されているフッ化物は心配ないです）

### 治療法

ホワイトニングやクリーニング、セラミックベニアなど様々な方法があるので変色の原因を明らかにして状態にあった治療をしていくことが大切です。

亀の井歯科

## 舌の構造と役割 (黒川)

人の舌は、口腔底から突出した横紋筋の塊の器官で表面に粘膜で覆われて、触覚や味覚の感覚器官であるほか食物の攪拌、嚥下あるいは発音にも関係しています。舌の癖で歯並びにも関わることもあります。

舌の表面には舌乳頭と呼ばれる突起があります。

舌の乳頭には糸状乳頭、茸状乳頭、有郭乳頭、葉状乳頭の4種類がありそれぞれ分布が異なります。

茸状乳頭、葉状乳頭、有郭乳頭には味蕾と呼ばれる味覚の感覚器が含まれます。

また舌には舌苔と呼ばれる汚れが付くことがあります。

舌の中央部から後方に付着する灰色ないし褐色の苔状物で剥離した角化上皮、白血球、微生物、唾液成分、食物残渣および色素などの混合物です。

### 舌苔が付いていると

1. 口臭の原因となる。
2. 高齢者はその汚れが気管に入ると誤嚥性肺炎になる事もある。

### 予防

舌苔内に潜む細菌を取り除くことは歯磨きする時に舌の汚れもチェックする。

無理に強く除去しようとするとう舌粘膜が傷つく事もあるので注意しましょう。

舌苔除去専用の舌ブラシを販売しています。

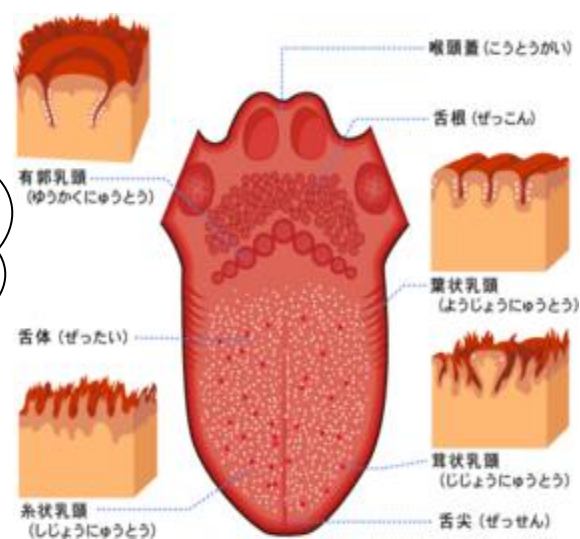
食欲の秋。舌もきれいさっぱりガッツリ旬を味わいましょう！

11/2の放射線量

新宿 0.047 柏 0.106

江戸川区 0.103  $\mu\text{sv}/\text{h}$  平均値は

通年日本 0.033 ブラジル 1.142



亀の井歯科